

証券コード：2580
2016年9月発行

コカ・コーライーストジャパン株式会社



コカ・コーライーストジャパン株式会社
代表取締役社長

カリン ドラガン

Calin Dragan

ごあいさつ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2013年7月1日の設立以来、当社は「成長に向けたOne+ロードマップ」の戦略に基づき、人材、事業構造やプロセス等の様々な事業変革を進めてまいりました。

国内の清涼飲料市場においては、消費者・お取引先のニーズが多様化しており、また清涼飲料各社間の販売競争が激化する等、厳しい状況が続いております。

このような状況下、当上半期は、新製品が好調に推移し、また、サプライチェーンシナジー効果もあり、販売数量、営業利益ともに前年より増加いたしました。当上半期の業績につきましては、後掲の「連結財務諸表」に記載のとおりであります。

下半期につきましては、子会社であるコカ・コーライーストジャパンプログラム株式会社の統合等により、当社グループの更なる市場競争力の強化を目指すとともに、サマーキャンペーン、スマートフォンアプリ「Coke ON」、「スマホ自販機」等により販売促進及び収益性改善に向けた取り組みを行ってまいります。

また引き続き、日本コカ・コーラ株式会社とのパートナーシップを強化し、世界に通用する日本のコカ・コーラボトラーとなることを目指してまいります。

今後ともより一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

●。上半期の活動概要 ●●●

- コカ・コーライーストジャパンプログラム株式会社を2016年10月1日付で合併することを決定
- 多摩工場の土地・建物に係る不動産売買契約を締結し、多摩工場全てを当社資産化
- 物流・配送の更なる効率化を目指し、サプライチェーン本部にて新生プロジェクトを立ち上げ
- RTM2.0 (Route-to-market) を導入し、営業プロセスの最適化を推進
- 業務変革の基盤となるERPシステム「CokeOne+」のバックオフィス向けフェーズ1の南東北エリアへの導入完了

●。通期の見通し ●●●

下半期につきましても、日本コカ・コーラ株式会社とのパートナーシップのもと、積極的な新製品導入や販促活動を展開してまいります。特に今年度は、「コカ・コーラ」では7年ぶりとなる全世界共通のキャンペーンTaste the feelingを通年にわたり展開しております。また、この一環としてリオデジャネイロオリンピック開催に合わせ、『“ゴールドな瞬間”を、「コカ・コーラ」で味わおう。』をコンセプトにした「コカ・コーラサマーキャンペーン2016」を6月20日から展開しており、最盛期の需要を確実にとらえてまいります。

2016年12月期の連結業績予想

売上高 ▶ **571,300**百万円 (前期比 1.4%増)
営業利益 ▶ **14,000**百万円 (前期比29.7%増)

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 2015年12月31日現在	当第2四半期末 2016年6月30日現在
資産の部		
流動資産	127,343	140,104
固定資産	244,428	240,782
有形固定資産	210,318	208,224
無形固定資産	8,361	8,744
投資その他の資産	25,748	23,813
資産合計	371,771	380,887
負債の部		
流動負債	82,668	99,817
固定負債	58,156	52,592
負債合計	140,825	152,409
純資産の部		
株主資本	231,089	230,290
資本金	6,499	6,499
資本剰余金	157,313	157,323
利益剰余金	68,454	67,620
自己株式	△1,178	△1,153
その他の包括利益累計額	△564	△2,291
新株予約権	420	480
純資産合計	230,945	228,478
負債純資産合計	371,771	380,887

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 2015年1月1日から 2015年6月30日まで	当第2四半期 2016年1月1日から 2016年6月30日まで
売上高	262,049	275,528
売上原価	140,051	145,418
売上総利益	121,997	130,109
販売費及び一般管理費	120,651	124,256
営業利益	1,345	5,852
営業外収益	649	756
営業外費用	611	958
経常利益	1,383	5,651
特別利益	445	77
特別損失	1,697	553
税金等調整前四半期純利益	131	5,174
法人税、住民税及び事業税	428	2,331
法人税等調整額	△1,285	△381
法人税等合計	△856	1,950
四半期純利益	988	3,224
親会社株主に帰属する四半期純利益	988	3,224

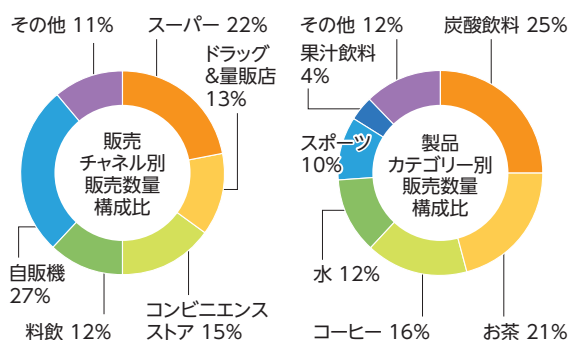
当第2四半期のポイント

連結貸借対照表

- 主に売上増や最盛期に向けた在庫の積み上げなどにより総資産は増加
- 短期借入金や買掛金の増加などにより負債は増加。また、主に配当金の支払などにより純資産は減少

連結損益計算書

- 新製品の好調による販売数量増や仙台社との事業統合により売上高は増加
- 順調なサプライチェーン改革のシナジー効果や販売数量増により売上総利益が増加したことに加え、人件費などの減少により販売費及び一般管理費の増加が抑制されたことなどにより、営業利益は大幅に増加



連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産、および長期前払費用が増加したことなどにより減少
- 投資活動によるキャッシュ・フローは工場設備や販売機器などの有形固定資産の新規取得による支出、財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の借り入れはあったものの、リース債務の返済などもあり、当第2四半期末の現金及び現金同等物は減少

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:百万円)

科目	前第2四半期 2015年1月1日から 2015年6月30日まで	当第2四半期 2016年1月1日から 2016年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	984	△1,996
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,734	△13,947
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,204	13,777
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,454	△2,167
現金及び現金同等物の期首残高	24,971	21,573
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	509	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,935	19,406



コカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社 との吸収合併を決定

当社グループの更なる市場競争力の強化を目指し、2016年10月1日付で、100%連結子会社であるコカ・コーライーストジャパンプロダクツ株式会社(以下「CCEJP」)を当社に吸収合併することを決定しました。当社は、清涼飲料の製造、配送および販売機器の保守、整備を担うCCEJPを吸収合併し、組織の最適化と簡素化を推進してまいります。

「やさしい軟水 アクアボナ」1,000ケースを南相馬市へ贈呈

東日本大震災発生から5年の2016年3月11日、コステル・マンドレア営業本部長が震災で甚大な被害を被った福島県南相馬市を訪問し、備蓄水として活用していただくため、「やさしい軟水 アクアボナ」1,000ケースを贈呈いたしました。



「やさしい軟水 アクアボナ」は東日本大震災以降、地域に密着した企業として安定した供給および災害時の迅速な供給体制を図るべく蔵王工場にて製造され、宮城県・福島県・山形県にて販売し、製品売上の一部を寄付しています。

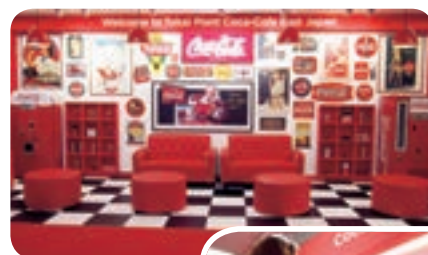
当社は震災発生直後から日本コカ・コーラ(株)と合同でさまざまな支援活動を行っています。今後もさらなる復興を目指して活動を進めていきます。

東海工場の見学プログラムを 体験型にリニューアル

当社は、工場見学をお客様や地域の皆様をはじめとするあらゆるステークホルダーとのダイレクト・コミュニケーションの拠点と位置付け、さらなる情報発信の強化を図るため、東海工場の見学プログラムを楽しく学べる体験型へリニューアルしました。

見学ラインからは見ることができない製造工程がスローモーションを含めた映像で見られる「バーチャルプラントツアー」やタブレットを使って工場を隅々まで見られるコンテンツもあり、楽しくコカ・コーラブランドを体感できます。

詳細と見学の予約状況は、当社のWEBサイトをご参照ください。
コカ・コーライーストジャパン 工場見学サイト
<http://www.ccej.co.jp/plant/>



多摩工場の不動産売買契約に調印

2016年6月30日、これまで賃借していた多摩工場の土地・建物(機械設備は従来より当社資産)を購入し多摩工場全てを当社資産とする不動産売買契約を締結しました。需要地である首都圏に近く、豊富な揚水量を誇る多摩工場は、当社の製造および物流の重要拠点であり、今後さらなる物流・配送の効率化を図り、会社の収益向上を目指します。

全従業員が一丸となり、最前線で活動

コカ・コーラ サマーキャンペーンを最大化

2016年リオデジャネイロオリンピック開催に合わせ、「“ゴールドな瞬間”を「コカ・コーラ」で味わおう」をコンセプトにした「コカ・コーラ サマーキャンペーン2016」を展開し、盛り上げるためのMIT (Market Impact Team) 活動を実施しました。

MITとは、普段は営業に従事していない従業員を含めて、全従業員が最前線で営業活動に参加する取り組みです。

今回は、当社のみならず、グループ会社、海外ボトラー従業員も参加し、本プロモーションの最大化に向けて活動しました。



RTM2.0 (Route to market) を導入、 営業プロセスを標準化から最適化へ

営業プロセスの“標準化”を目的としたRTM1.0のNEXTステージとして、“最適化”を目指すRTM2.0を導入しました。

RTM2.0は、営業プロセスを進化させ、きめ細かな営業活動や対応により、競争力をさらに高める仕組みの構築を目的としています。また、同時に営業担当者の生産性を向上させ、労働時間短縮によるワークライフバランスの充実を図ります。それによりエンゲージメントを高め、持続的な好循環サイクルの構築を目指してまいります。

「買う」・「飲む」・「楽しむ」シーン別の新しいサービスを

いつでもどこでも体験できる

スマートフォンアプリ「Coke ON」誕生

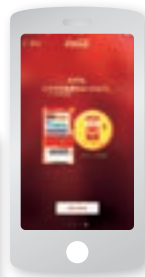
次世代のデジタルマーケティングプラットフォームである「Coke ON」のサービスを2016年4月より開始しました。

その第1弾として、「Coke ON」アプリに対応したコカ・コーラ自動販売機「スマホ自販機」でのロイヤリティプログラムを開始しています。「Coke ON」アプリを利用して「スマホ自販機TM」と接続した状態で当社製品を購入すると1本につき1スタンプが獲得でき、15スタンプでお好きな製品1本と無料で交換できるドリンクチケットが獲得できます。

「Coke ON」ではこのほか、製品特性やブランド戦略に即したさまざまなサービスの提供を予定しています。



「Coke ON」アプリはこのマークのついたスマホ自販機のみで体験できます。自販機右上または、金額表示部にこのマークがあるかご確認ください。



「Coke ON」スマートフォンアプリ対応の「スマホ自販機TM」

● 会社概要 (2016年6月30日現在)

商号	コカ・コーラ・イーストジャパン株式会社 (英文社名: Coca-Cola East Japan Co.,Ltd.)	上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
本店所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂六丁目1番20号	会計監査人	新日本有限責任監査法人
代表者	代表取締役社長 カリン・ドラガン 代表取締役副社長 ジャワハル・ソライ クップスワミー	販売エリア	東京都/神奈川県/静岡県/山梨県/愛知県/ 岐阜県/三重県/埼玉県/群馬県/新潟県/ 千葉県/茨城県/栃木県/宮城県/福島県/ 山形県の1都15県
資本金	64億99百万円	事業内容	清涼飲料水の製造、加工および販売
設立年月日	2001年6月29日 (2013年7月1日 コカ・コーラ・イーストジャパン 株式会社に商号変更)		

● 役員 (2016年6月30日現在)

取締役			
代表取締役 社長執行役員	カリン・ドラガン	コカ・コーラ・イーストジャパンプロダクツ(株) FVイーストジャパン(株)	代表取締役社長 代表取締役社長
代表取締役 副社長執行役員	ジャワハル・ソライ クップスワミー		財務本部長
取締役 副社長執行役員	コステル・マンドレア		営業本部長
取締役 常務執行役員	尾関 春子		法務本部長
取締役 執行役員	川本 成彦		コーポレート統括部長
取締役	イリアル・フィナン	ザ コカ・コーラ カンパニー	上級副社長(ボトリング投資グループ社長)
取締役	ダニエル・セイヤー	ザ コカ・コーラ カンパニー	西ヨーロッパ ビジネスユニット プレジデント
取締役	稲垣 晴彦	北陸コカ・コーラボトリング(株)	代表取締役社長
取締役	高梨 圭二		
取締役	吉岡 浩		
監査役			
常勤監査役	永淵 富三		
常勤監査役	杉田 豊		
監査役	野崎 貞夫	キックマン(株)	顧問
監査役	近藤 原臣	日本コカ・コーラ(株)	バイスプレジデント社長室長

● 株式情報 (2016年6月30日現在)

株式の状況

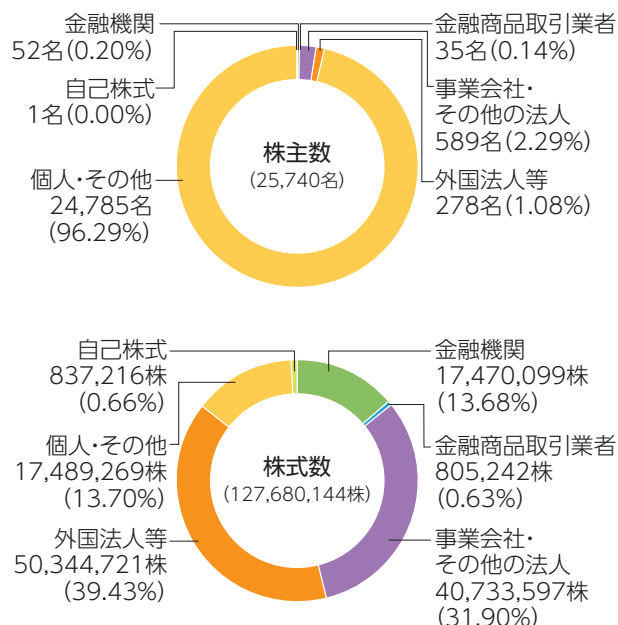
発行可能株式総数	487,000,000株
発行済株式の総数	127,680,144株
株主数	25,740名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
EUROPEAN REFRESHMENTS	20,605,579	16.13
日本コカ・コーラ株式会社	16,669,354	13.05
株式会社千秋社	5,451,200	4.26
東洋製罐グループホールディングス株式会社	5,126,090	4.01
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	3,499,159	2.74
カメイ株式会社	3,373,548	2.64
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,906,800	2.27
株式会社引高	2,668,548	2.09
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,486,601	1.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,435,900	1.90

※1. 持株比率は、表示単位未満を切捨てて表示しております。
 ※2. 当社は、自己株式を837,216株保有しております。

株主分布状況



● 株主インフォメーション

株主優待制度のご案内

当社では日頃のご支援に対する感謝のしるしと、当社製品へのご理解を深めていただく機会として、毎年12月31日現在の株主のみなさまに、年1回当社製品を贈呈しております。

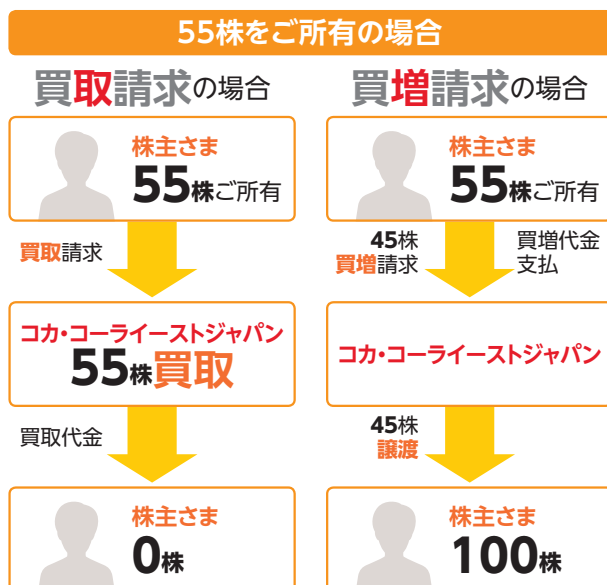
- 贈呈時期(年1回贈呈)
12月31日現在名簿記載の株主さま ▶ **4月上旬**にご送付いたします
- 贈呈基準
100株以上500株未満保有の株主さま ▶ **当社製品12本**
500株以上保有の株主さま ▶ **当社製品24本**



優待品製品例(写真の製品と異なる場合があります。)

単元未満株式の買取・買増請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は100株(1単元)となっておりますので、1~99株(単元未満株式)を市場で売買することはできません。単元未満株式については、当社に対して買取請求(売却)、または100株単位となるよう買増請求(購入)できる制度があります。



IRサイトのご案内

その他IR情報や、個人投資家のみなさま向けのコンテンツもホームページに掲載しております。是非ご参照ください。

コカ・コーライーストジャパン IR

株式事務のお手続きに関して

住所変更、買取、買増請求、その他の株式に関するお手続きにつきましては下記へお問い合わせください。

- 旧コカ・コーラ セントラル ジャパン(株)
 - 旧東京コカ・コーラボトリング(株)
 - 旧利根コカ・コーラボトリング(株)
- の株主さま

証券口座で株式を保有している株主さま

口座を開設されている証券会社等

特別口座で株式を保有している株主さま

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行
0120-232-711 (フリーダイヤル)

- 旧三国コカ・コーラボトリング(株)の株主さま

証券口座で株式を保有している株主さま

口座を開設されている証券会社等

特別口座で株式を保有している株主さま

特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行
0120-782-031 (フリーダイヤル)

尚、未受領の配当金につきましては、**三菱UFJ信託銀行**の本支店でお支払いいたします。

■ 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日
剰余金の配当の基準日	6月30日、12月31日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います ※ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。 公告掲載URL http://investor-jp.ccej.co.jp/phoenix_zhtml?c=251855&p=ir-rol-enpnws

COCA-COLA、コカ・コーラ、COCA-COLA ZERO、コカ・コーラ ゼロ、FANTA、ファンタ、GEORGIA、ジョージア、爽健美茶、そうげんびぢゃ、AQUARIUS、アクエリアス、綾鷹、あやたか、ILOHAS、いーろーはーす、AQUABONA、アクアボナはThe Coca-Cola Companyの商標です。

コカ・コーライーストジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂六丁目1番20号
TEL : 03-5575-3749 URL : <http://www.ccej.co.jp/>

UD FONT

